

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.9 3

平成 19 年 12 月 6 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

新しいウィンドウで開く

インターネットの検索で、たくさんのページが見つかったとき、一つを参照したあと、また別のページを見ることが多いです。このとき、もう一度検索操作はしたくはありません。検索結果のページをいつもどこかに表示しておけると便利です。

こういうときに便利なのが、「新しいウィンドウで開く」です。

インターネットの画面で、クリックすると別のページが表示される箇所（ハイパーリンクが設定されている）では、マウスの形が指差しマークに変わります。ここでクリックすると、そのとき見ている画面が、新しい画面に置き換わってしまふことがあります。元の画面を見たいときは、「戻る」をクリックして戻ります。従って、次々とページを見てしまった後だと、検索結果の画面に戻るのがたいへんです。「戻る」で戻れないページもときどき見かけます。

こういうとき、検索結果の画面で、見たいページをクリックするのではなく、右クリックをして出てきたメニューで、「新しいウィンドウで開く(N)」を選びます。そうすると、今見ている画面ではなく、もう一つ新しい画面が開いて、そこに見たいページが表示されます。元の検索画面を見たいときは、新しい画面を閉じるか最小化すればいいのです。

この、「新しいウィンドウで開く」は、グループウェアでメールを見るときにも、効果を発揮します。

グループウェアの画面の中でメイン・サブ・CyberMail のタブでメールを見ると、少し領域が狭いので見づらいです。

グループウェアは、いつもタスクバーに最小化して置いています。ここで、「WEBメニュー」→「他システム」→「CyberMail」と辿って、右クリック、「新しいウィンドウで開く」を選びます。そうすると、新しい画面でメールを開くことができます。普通にこれをクリックしてしまうと、グループウェアの画面に「戻る」ことができなくなります（ブラウザの「戻る」をクリックしても戻れない）ので、不便です。このとき、「お気に入り」からグループウェアを起動すれば戻ることができますが、メールの画面が独立していれば、閉じればいいのでわかりやすいです。

グループウェアは、1日中ログインしたままで大丈夫ですし、そのままパソコンを休止（ふたを閉じる）しておけば、他の人に見られる恐れもないので、いつでもここから、メールパスワードを入力せずに、大きな画面でメールの確認ができることになります。

しょっちゅう、グループウェアやメールのパスワードを入力するのが面倒、メールは大きな画面で見たい、とお感じになっている場合には、是非おためしください。

☆そもそも、グループウェアと CyberMail は、全く別のアプリケーションですから、別ウィンドウで動かした方が無難です。

